

# 中小企業の活性化へ

## 党対策本部が現場で声聞く



ものづくり支援策について聞く(右から)高木、高橋の両氏1日 東京・墨田区

### 補助金支えに収益増

金属製品  
加工会社

#### 高木氏 支援策の効果を確認

#### 東京・墨田区

ガシヤン、ガシヤン。

高木陽介本部長代理(衆院議員)が1日、高橋正利墨田区議と共に、東京都墨田区の株式会社ヨシズミプレスを訪ねると、小気味いい自動プレス機の音が響きわたっていました。

「ものづくり補助金が支えになり、収益は3割ほど増えました」。こう語るのは吉任専務取締役です。同社は携帯電話のシールド(遮蔽)ケースや自動車精密部品など幅広い金属部品

を製作しています。

これまでに、ものづくり補助金を3回活用し、プレス機を中心とした設備投資や新商品の開発を進めています。中でも、昨年5月に

交付された補助金は、部品の精密な形状などを正確に測る最新の3次元測定器の導入に活用しました。

吉任専務は「この測定器で得られる正確なデータによって、取引先からの製品への信頼が高まり、仕事の幅が広がりました」と手応えを感じていました。高木氏は「企業の皆さんが元気になる」と地域も元気になり

ます。これまで推進してきた支援策の効果が実感できます」と述べました。

高木氏は吉任専務らの案内で、34台の自動プレス機が稼働する工場内を視察しながら、公明党が後継者問題に悩む企業への事業継承支援を拡充している取り組みなどを紹介しました。

吉任専務は「行政からの支援が使いやすく、さらに充実すると助かります」と要望。これに対し、高木氏は「地元議員と一体となり、皆さんの声を政策実現へ生かしていきます」と応じていました。